

6.市立図書館における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

子どもにとって市立図書館は読みたい・知りたい気持ちに応える身近な施設です。現在図書館では多様な資料を提供するとともに、おはなし会などを開催し、本に親しむきっかけづくりに取り組んでいます。今後は乳幼児をはじめとした子どもたちに、さまざまな事業を行い、図書館利用を広げ、本を読む楽しさを伝えていきます。また子どもの読書についての関心と理解を深める保護者向けの講座を行います。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	図書館バリアフリー宣言	市立図書館	新規	だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、図書館のバリアフリー宣言をし、様々な場面でPRする。
				読書相談とレファレンスサービスの充実	市立図書館	継続	子どもが読みたい本や知りたいことを見つけられるよう取り組みを充実する。
				豊中版ブックスタート事業「えほんはじめて」	○市立図書館健康づくり推進課 子育て支援センター 豊中子ども文庫連絡会	拡充	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読みあう楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。4か月児健診時、市内4カ所の会場で行う。絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等を配布する。また健診未受診者へ「えほんはじめて」の資料を配布するなど、状況に応じて働きかけを行う。 〔第2章1(2)地域にも掲載しています。〕
				乳幼児向けおはなし会	市立図書館	拡充	「えほんはじめて」の取り組みをフォローするものとして、乳幼児と保護者が楽しみながら、わらべうたや絵本にふれる機会をつくる。
				おはなし会	○市立図書館おはなしボランティアグループ	継続	子どもが絵本やおはなしの楽しさを知ることができるよう、図書館でおはなし会を定期的に行う。
				「えほんにタッチ」	市立図書館	継続	「えほんはじめて」の取り組みをフォローするものとして、経験豊かな講師を迎え、0歳前半と後半などの発達段階に分け、親子で一緒に楽しみながら、読書の大切さを感じる取り組みを図書館などで行う。
				絵本講座の開催	○市立図書館関係機関・団体	拡充	子育て支援の講座のなかで、親子が一緒に楽しみながら読書の大切さを感じる取り組みを、関係機関・団体と連携して行う。 〔第2章1(1)家庭 1(2)地域 5障害のある子どもや外国人の子どもをご参照ください。〕
				情報検索の講習会	市立図書館	新規	子どもを対象とした図書館の情報検索について講習会を行う。
				「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」	市立図書館豊中子ども文庫連絡会(豊子連)	継続	子どもが絵本の読み聞かせやおはなし、手づくり遊びなどを楽しむ「子どもと本のまつり」や講演会、ワークショップなどの「子どもと本のつどい」を豊子連と共催して行う。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	伝承遊びの場づくり	市立図書館	新規	地域の大人による、伝承遊びや昔話りの場を提供する。
				子ども対象の催し	市立図書館	継続	折り紙や手作り工作をはじめとした地域子ども教室など、子ども向けに行っている行事を充実し、子どもと本をつなぐ機会とする。
				「おはなし指導者派遣事業」	市立図書館 豊中おはなしの会	継続	豊中おはなしの会の協力を得て、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 〔第2章3保育所(園)幼稚園 4学校 5障害のある子どもや外国人の子どもにも掲載しています。〕
				保育所(園)・幼稚園訪問	○市立図書館 保育所(園) 幼稚園	継続	保育所(園)、幼稚園に出かけて、おはなし会や図書館の使い方の説明を行い、絵本やおはなしの楽しさを伝える。 〔第2章3保育所(園)幼稚園にも掲載しています。〕
				「ようこそ図書館へ」	○市立図書館 小学校	継続	主に小学校3年生を対象として、小学校へ図書館見学を呼びかけて実施する。
				講座の開催	市立図書館	継続	保護者や子どものまわりにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を行う。

子どもの本や読書に関する情報提供

市立図書館では小学校1年生へ図書館の利用案内を配布し、子どもの図書館利用を進める事業に取り組んでいます。また乳幼児を持つ保護者が子どもの本を選ぶ参考になるリストを配布しています。今後は市立図書館のホームページを充実するなど様々なメディアを利用し、子どもや子どものまわりの大人に対して読書や図書館の利用方法に関する情報を提供する取り組みを進めます。

◆全体的な取り組み(4ページ)をご参照ください。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	ブックリスト	市立図書館	継続	本の紹介リストを作成する。
				ホームページの充実	市立図書館	新規	図書館の子ども向けホームページをより使いやすいものにする。
				家庭への情報提供	市立図書館	新規	図書館のホームページやケーブルテレビで本の紹介などを行う。 〔第2章1(1)家庭 5障害のある子どもや外国人の子どもにも掲載しています。〕
				新1年生へのPR	市立図書館	継続	「新1年生ビラ」を小学校を通じて新1年生に配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 〔第2章1(1)家庭にも掲載しています。〕

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児 小中学生 15才以上 大人	情報検索のリーフレット	市立図書館	新規	子どもを対象とした図書館の情報検索のリーフレットを作成する。			
	教職員向け利用案内	○市立図書館 学校指導課 小中学校	新規	教職員向けの図書館利用案内を作成する。			
	中学・高校生へのPR	市立図書館	拡充	市内の中学校、高校に利用案内やポスターを配布する。			

読書環境の整備

市立図書館では子どもの多様なニーズに応えるために、幅広い資料の提供を行っています。今後はさらに質の高い児童書の収集と複本購入による図書館資料の充実をめざします。また障害のある子どもや外国人の子どもにとって有効な資料の収集を進めます。施設面では誰もが来館しやすく、安心して本を選べるような環境整備を行います。また様々な理由で来館困難な子どもたちの読書活動を支援するために、動く図書館や団体貸出サービスによって市内全域の読書環境を整備します。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児 小中学生 15才以上 大人	市立図書館の資料の充実	市立図書館	継続	図書館が子どもや子どもの本に関する情報を収集して資料を選書し、児童書の蔵書をさらに充実したものとする。			
	はじめてであう絵本のコーナー	市立図書館	継続	子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置する。			
	子育て支援	市立図書館	拡充	子どもの本とともに子育てに関する資料や情報を提供し、図書館が子育て支援の場のひとつとなるよう環境整備を行う。			
	ティーン向けの資料の充実	市立図書館	継続	ティーン向けの本のコーナーを設置する。			
	資料の充実	○市立図書館 通園施設 養護学校	新規	図書館が通園施設や養護学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書の際の参考にする。 〔第2章5 障害のある子どもや外国人の子どもにも掲載しています。〕			
	外国語資料の充実	市立図書館	拡充	外国語資料を購入や寄贈によって充実するとともに、岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 〔第2章5 障害のある子どもや外国人の子どもにも掲載しています。〕			
	外国語資料の検索システムの整備	市立図書館	新規	英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。 〔第2章5 障害のある子どもや外国人の子どもにも掲載しています。〕			

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳 幼 児	小 中 学 生	15 才 以 上	大 人	動く図書館の巡回	市立図書館	継続	動く図書館が通園施設や養護学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ資料を貸出する。
				団体貸出	市立図書館	継続	子ども文庫、保育所(園)や幼稚園、人権まちづくりセンターなどへ団体貸出を行う。 [第2章2地域の公共施設等 3保育所(園)幼稚園 5障害のある子どもや外国人の子どももご参照ください。]
				留守家庭児童会への貸出しと配本	○市立図書館 子育て支援課	継続	留守家庭児童会へ絵本や紙芝居などを選書し、定期的に貸出・配本する。平成18年3月現在32ヶ所で実施。
				学校図書館との連携・支援	○市立図書館 学校指導課 小・中学校	継続	市立図書館職員と学校司書が日常的に子どもや子どもの本に関する情報を共有する。その中で学校図書館への団体貸出や調べもの、リクエストなどの支援を充実する。また市立図書館の行事においても両者が連携し、内容の充実を図る。

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

豊中市では学校をはじめ、子どもや子どもの本に関わる施設、子ども文庫やおはなしボランティアなどの団体が子どもの読書や子どもの居場所づくりなど、様々な活動や事業を行っています。市立図書館がこれらの施設や団体と連携し、子ども読書活動のネットワークづくりを進め、地域での活動を活性化する取り組みをさらに充実します。

◆全体的な取り組み(4ページ)をご参照ください。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳 幼 児	小 中 学 生	15 才 以 上	大 人	学校・市立図書館連絡会	○学校指導課 ○市立図書館 小・中学校	継続	学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を設ける。
				小児科などの医院との連携	市立図書館	新規	地域の小児科などの医院と、子どもと子どもの読書に関する情報交流を行う。 [第2章1(1)家庭をご参照ください。]

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

市立図書館では子ども読書活動を行うボランティアや市民活動団体へ図書資料や情報などの提供を行っています。またおはなしボランティア講座をはじめ、各種講座・講演会を開催し、活動の支援に取り組んでいます。これらの活動は広がりをもたせ、資料提供とともに学習の機会や場の提供などによる継続的な支援を進めます。また子ども自身が子ども読書活動のボランティアとして関わることのできる事業に取り組めます。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	おはなしボランティア活動への支援	市立図書館	拡充	地域や図書館、学校で活動するボランティアに対して図書資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。
				紙芝居ボランティア「紙芝居すきやねん」	○市立図書館 おはなしボランティアポケット 関係施設	拡充	市立図書館や地域の公共施設が地域のおはなしボランティアと連携し、小学生・中学生・高校生のおはなしボランティア活動を支援し、活動の場を提供する。 〔第2章1(2)地域 3保育所(園) 幼稚園 4学校をご参照ください。〕

子どもに関わる大人への啓発と研修

市立図書館では大人に向けて子どもの本や読書に関する講座や講演会を行っています。今後はさらに関係部局や団体との連携・協力を進め、保護者、教職員、保育士など子どもを取り巻く大人が子どもの読書についての理解と関心を深める取り組みを行います。また図書館の児童サービスを担当する司書の資質向上をめざし、研修内容の充実に努めます。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	パネル展	市立図書館	新規	子ども読書に関わる市民・関係団体の活動を紹介するパネル展を行う。
				教職員への取り組み	○市立図書館 学校指導課 小中学校	新規	夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学会や図書館・図書館資料の効果的な活用を提案する。 〔第2章4学校をご参照ください。〕
				情報交流と研修	市立図書館 関係施設	拡充	図書館や関係機関等で行う講座や研修の情報を共有し、学習の機会を広げる。 〔第2章3保育所(園) 幼稚園 5障害のある子どもや外国人の子どももご参照ください。〕
				図書館職員研修	市立図書館	拡充	図書館の児童サービスに関する研修を充実する。

乳幼児向けおはなし会「おはなしぴよぴよ」

岡町図書館では4か月児健診での「えほんはじめまして」事業をフォローするものとして、0歳児の赤ちゃんと保護者向けのおはなし会、「おはなしぴよぴよ」を行っています。健診当日の「えほんはじめまして」でも絵本を紹介したり、絵本のページを目で追う赤ちゃんの反応を見てもらえますが、もっとゆっくり絵本を楽しんでいただけたらと、この「おはなしぴよぴよ」をはじめました。

中には「赤ちゃんに絵本を見せてわかるかな？」というお母さんもいらっしゃいます。けれども赤ちゃんが絵本の一場面をじーっとみつめたり、こちよ言葉の響きに耳をかたむけて、絵本の絵や音の世界を楽しんでいる様子を見て、次第にお母さんも赤ちゃんと一緒に絵本を楽しんでもらえるようになります。また「おすわりやーす、いすどっせ」などと歌いながらお母さんが赤ちゃんとふれあい、一緒に楽しむわらべうたも紹介しています。15分という短い時間ですが、終わったあとも赤ちゃん絵本のコーナーがお母さん同士の交流の場となっています。

「えほんにたち！」

12か月までの赤ちゃん和絵本の出会をお手伝する絵本講座「えほんにたち！」。他の図書館での様子は聞いていましたが、果たして12か月まで、さらには6か月までの赤ちゃんに見なれない大人の人和読み聞かせをして、絵本の楽しさが伝わるのでしょうか。でもそのような心配をする必要はなかったようです。経験豊かな先生の柔らかく時にはリズムカルな声流れると、空気がとまったかのよう和反応し、絵本に視線が吸い寄せられていく赤ちゃんの様子は神秘的でさえありました。またその様子を目にする和、参加者全員が和やかな空気に包まれ、絵本の読み聞かせの楽しみを赤ちゃん和共有する至福の時間を過ごすことができました。



動く図書館の施設サービス

動く図書館は、養護学校や障害児通園施設、それに市内5か所の保育所にも巡回しています。毎回行くたびに、待ちかねて飛び出してくる子や、いろいろお話をしてくれる子もいます。保育所の子もたちはクラスごとにやってきて、ひとり1冊選んで借りて行きます。みんながどんどん選んでいく中、なかなか借りたい本が見つからない子。「何か好きなものは？」「こんなどう？」いろいろ勧めてみます。探している本が車に載っていない時は、次の巡回のときに持って行きます。そんな時には、朝から「図書館まだ？図書館まだ？」って、何度も先生に聞く子どもがいるとか。動く図書館は、子どもたちにとって本との出会い、発見の場となっています。



紙芝居ボランティア「紙芝居すきやねん」

高川図書館では、小中学生、高校生のボランティアが、毎月紙芝居会をしています。紙芝居ボランティアは、図書館で地域のお兄ちゃんお姉ちゃんが、小さい子どもたちに紙芝居を読んであげることにより、地域のなかでの人間関係を育むことができれば、という思いで始めました。2006年

3月現在で、メンバーは9人です。

紙芝居会には、保育所を招待しているので、たくさん子ども達がやって来てくれます。ボランティアメンバーは、それぞれ好きな紙芝居を選び、練習して本番に臨みます。最初は緊張気味ですが、回数を重ねて慣れてくると、だんだん上手くなり、「楽しかった」「見ている子たちがノッてくれて嬉しかった」「また頑張ろう」など感想ノートに書いています。保育所の子ども達も、終わった後メンバーと握手をしたりして、「ありがとう！」と笑顔で帰って行きます。終わると、毎回反省会をします。紙芝居のことから話は脱線して、学校のこと、友達のこと、いろんな話をしながら、わいわいと賑やかに進んでいます。



庄内図書館での外国語おはなし会

庄内図書館では、3年前から、年に1、2度、外国語のおはなし会を行ってきました。外国人親子向け日本語教室「しょうないおやこでにほんご」参加者の外国人ママや、外国人スタッフの母語での絵本の読み聞かせと外国の手遊びなどを中心に、職員の大型絵本や大型紙芝居と一緒に見たり、みんなで歌を歌ったりしながら、少しずつ交流の輪を広げてきました。



外国人の子どもたちも、日本の子どもたちと一緒に参加します。絵本の読み聞かせは体験していても、ペープサートやパネルシアター、時には紙芝居自体が母国になく初めての経験という子どもたちもいます。しかし、おはなしが始まると親子で一緒になって、一生懸命みんなで聞いて、歓声などの反応がすぐに返ってきます。日本の子どもたちも外国人の子どもたちも外国の手遊びや外国語での動物の鳴き声クイズ、影絵を使ったクイズなど、ごく自然に体験し、楽しく交流し、地域に住む外国人の方との共生についてお互いに理解を深める機会となっているようです。